

皆さんの税金

その使い道

平成19年度
予算



新聞やテレビなどでよく耳にする予算。
大学生の菊池太郎くんは、自分が住むまちの税金がどのように使われているのかを勉強しようと、菊池市役所の財政担当者に、その使い道などを聞いてみました。

●消費税やたばこ税、自動車税など、僕たちが支払った税金はどのように使われているのかを知りたいのですが。
●菊池市では、皆さんから納めていただいた税金などを計画的に、効率よく使うために「予算書」を作っています。
●そういえば「今年度の予算が決まりました」などと新聞やテレビでよく耳にしますね。
●予算書は、入るお金と使うお金を項目ごとに分けて整理しているものです。
●新しい年度が始まる4月1日より前に議会の承認を受けなければいけません。
●菊池市でも3月にあった定例議会で平成19年度の予算が承認されました。

●「入るお金」は、表1の歳入から見ていきますよ。
●まずは、表1の歳入から見ていきますよ。
●市民の皆さんから納めていた「市税」を49億2,332万2千円と、市の財政状況に応じて国から配分される「地方交付税」を70億5,000万円などとそれぞれ入ってくるお金を見込んでいます。
●なるほど。5月に支払う僕の軽自動車税は市税になるんですね。
●それから、三位一体の改革や行財政改革などをよく耳にしますが、菊池市にも何か関係がありますか。

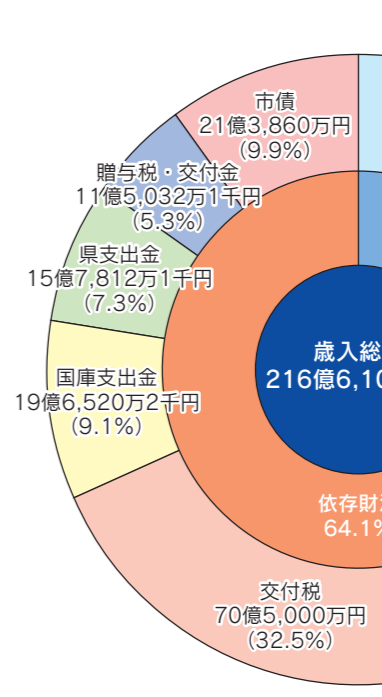


表1 歳入

●なるほど。5月に支払う僕の軽自動車税は市税になるんですね。
●それから、三位一体の改革や行財政改革などをよく耳にしますが、菊池市にも何か関係がありますか。

●市税
市民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など最も重要な財源です。
●地方交付税
行政サービスをどの自治体で受けても同水準になるように、国が市の財政状況に応じて配分するお金です。
●地方譲与税
自動車重量税と税や地方道路譲与税、所得譲与税と国税として収納されたものが一部還元されるものです。
●国庫支出金
事業を行うため国から交付されるお金です。
●県支出金
事業を行うため県から交付されるお金です。
●市債
特定の事業のため借入れるお金です。
●その他
分担金・負担金、使用料・手数料、財産収入、繰越金、諸収入などがあります。

平成19年度 予算

●依然、国からの国庫補助金の削減や地方交付税の縮減、税源移譲のいわゆる「三位一体」の改革で地方負担増の影響がでてきます。
●少子高齢化の進展や社会保障経費の増大に加えて、新市建設計画に掲げる施策を推進するため、合併交付金や合併特例債などを有効活用し、限られた予算を重点的、効率的に配分して市民の皆さんに身近な行政サービスを進めていきます。

●次は表2の歳出です。歳入額が減少することにより、歳出額も減少することになります。物件費や人件費などの見直しで、徹底した経費削減を行っています。地域活性化につながるような特に必要な財源は確保しています。
●では、項目ごとに見ていきましょう。
●最も多いのが「民生費」で、

使うお金

●次に多いのが「公債費」でこれは市の借金です。そして、「総務費」、市道や排水路、公営住宅の建設や管理などを行う「土木費」、市立の小・中学校の管理などの「教育費」、農家の人が農業をしやすくするための「農林水産業費」があります。他にも、乳幼児医療費などの「衛生費」、火災などの災害から私たちを守ってくれる消防団活動などに使われる「消防費」などがあります。
●今まで難しく思うので、あまり考えたことがなかった予算について、少し分かったような気がします。

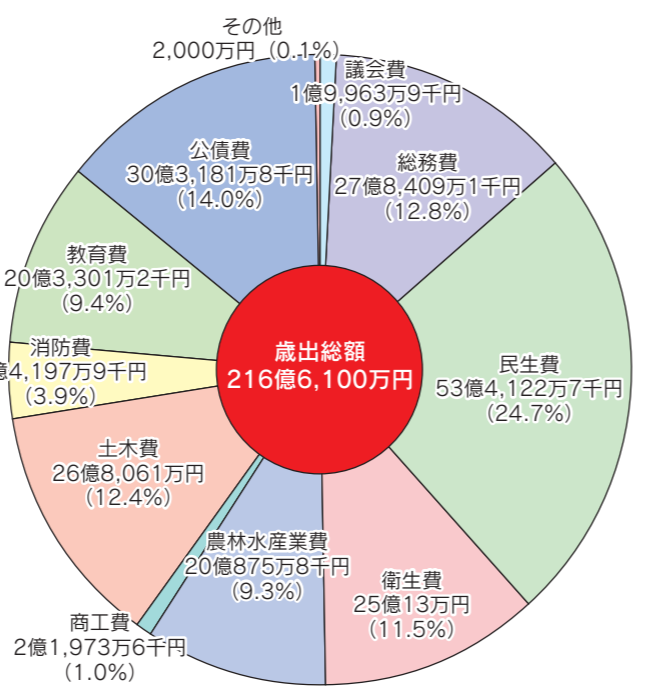
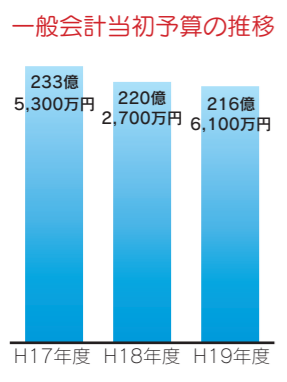


表2 歳出



3月にあった1歳6カ月児健診。これには「衛生費」が使われています



●これまで紹介した、平成19年度の詳しい予算書は、菊池市役所財政課で閲覧することができます。
●問い合わせ先
財政課 ☎ (25) 11111

- 議会費
議会運営のための経費です。
- 総務費
市の行政、財産、選挙、企画、税の徴収、窓口業務などの経費です。
- 民生費
市民の皆さんの福祉向上のための経費です。
- 衛生費
ごみ処理や健康づくりなどのための経費です。
- 農林水産業費
農林業の振興のための経費です。
- 商工費
商工、観光の振興のための経費です。
- 土木費
道路や橋、河川、公営住宅などの整備の経費です。
- 消防費
菊池広域連合消防本部への負担金や消防機材などの整備の経費です。
- 教育費
学校教育や生涯学習などの経費です。
- 公債費
市の借金(市債)を返済する経費です。